

「佐渡金銀山」保存・活用行動計画
令和元年度事業 点検・評価調書

4-III-5

4-III-5

章	第4章 世界遺産登録に向けた来訪者の受入体制整備		取組項目	救急医療機関との連携
	節	Ⅲ. 安全対策の徹底		
事業(施策)名	5 警察・医療機関との連絡体制の構築		事業主体	佐渡市世界遺産推進課
			関連団体	県文化行政課、佐渡警察署、佐渡市市民生活課、佐渡市消防本部
事業実施期間	H28～R4			
事業概要	【事業目的】	○警察や医療機関との連携により、来訪者の不慮の事故や疾病への対応を図る。		
	【事業内容】	○警察や医療機関との連絡体制の強化により、来訪者の不慮の事故や疾病時の連絡体制の構築を図るとともに、山林部等の不便な場所に所在する構成資産においては、緊急時における連絡先等を明記したサインの設置を検討する。		
R元事業計画と実績	【元年度計画】	●緊急時における連絡先等の明記や別途案内看板等の設置有無について、関係機関と協議を行う。		
	【元年度実績】	●山中における緊急時の目印となるよう新規解説サイン等を設置した際や散策路の整備を行った際に関連団体へ情報を提供することとした。		
課題・今後の取組	【課題】	<ul style="list-style-type: none"> ■今後も各種サインの設置に伴い、関係機関にサイン設置箇所の情報を提供する必要がある。 ■サインデザインの都合上、新設するサインに緊急連絡先を記載することが難しいため、新設するモデルコースの起点や駐車場付近に別途サインを設置する必要があるのか検討する必要がある。 		
	【今後の取組】	<ul style="list-style-type: none"> ■サイン設置後に関係機関へサイン設置箇所の情報を提供する。 ■サイン更新時等に関係機関への情報提供を行う必要があることから、事業実施期間を延長する。 		
事業評価	【事業の達成度】	◇計画どおり、目標を達成できたことからBとした。		
	【事業実施の効果】	[a (b) · c]		
	【総合評価】	[A (B) · C]		

a: 進んでいる。高い。
b: 概ね順調。概ね適切。
c: 遅れている。低い。

A: 計画を上回る進捗で、十分な成果が得られている。
B: 概ね計画どおり進んでおり、一定の成果が得られている。
C: 計画から遅れが見られ、十分な成果が得られていない。